



小山乃里子の  
華麗なる男のインタビュー

長島 隆

△神戸地下街副社長▽

## 神戸市民の手で 造り上げた記念碑

開港120年祭という市のイベントの中で、市民が造り上げた、映画発祥の地の記念碑が完成した。今月は、仕掛け人の一人である長島さんが愛する映画、ブータンへの思ひのほんのさわりをご披露します。

### ★映画の記念碑を新しいバフォーマンスの場に

ノコ メリケンパークも、夏までいろんな催し物が続きますね。

長島 あそこも楽しく、いい場所になるでしょう。

ノコ 本来の映画発祥の地というのは花隈なんですね。長島 花隈の神港俱楽部なんだけど、場所が歩道だけだから、柱一本建てることしかできない。それでメリケンパークならば、今から造る場所だから、自由に出来る、

ノコ ということで、ポートアイランドなどにも、いいものを作っている環境造形Qに映画発祥の地の記念碑を造つてもらうことにした。

ノコ あの、石をくり抜いてのスクリーンというのはおもしろいですね。

長島 僕らも、ああいうものが出来ると思わなかつたこれから、あれを舞台にして、いわゆるバフォーマンス

が演られるんじやないかという気がしますね。そういう意味では、いい作品を創つてくれたと思いますね。そういう

ノコ 石に刻む俳優さんは、どうやって選んだんですか

長島 最初、映画の記念碑を建てる会のメンバーで候補

者を挙げていたら、みんな自分の量員ばかり言う(笑)これは100人挙げても150人挙げても收拾がつかない、といふわけで、淀川長治さんに一任して40名決めてもらつた。ですから、今の若い人が知らない名前がたくさんあるんじゃないですか。

ノコ そうでしょうね。資金集めの方は?

長島 映画館で、ファンの人たちが募金したものや、淀川さんが寄付して下さった100万円がベースだったけれども、大体全部で二千万ぐらいかかるということで、石40個だから、単純に1個50万で売ろうということになった

ノコ そうだったんですか。

長島 それも僕は神戸の土地柄、それと映画、メリケンパークという場所、美男・美女の名前が並んでいるので、いわゆる『神戸つ子のお店』にやつてもらおうと思った。ファッショニ、洋菓子、本当に神戸の企業だけに絞りました。だから、全部本拠地が神戸の会社になりましたね。ところが、スポンサーが決まる、今度は役者の争奪がありましてね(笑)

ノコ 争奪!?(笑)

長島 どのスター・ストーンがどこの提供かというのは、屏風ぐらいの大きな一枚の銅板、メモリーストーンに刻み込むので、石の数もあまり増やせなかつたけどね。

ノコ いっぱい人に来てもらわないといけませんね。

長島 今の組織は、記念碑を建てるための組織だから、除幕式が終わったら解散しようと思っているんです。も

しここを舞台に、映画ファンが何かやりたいなら、例えば、神戸の市民だけでグループを作って、その年に最高の演技をした新人の女優さんを表彰するとか、という

ような話もあるから、そういう会を作っていくたらいいと思う。若い人が考えたら、まあ、われわれが想像出来ないような使い方があるんじゃないかな。

ノコ 長島さんご自身は、どなたがお好きだったんですか？

長島 ジャン・ギャバン。僕ら、ジャン・ギャバンの青

春時代とともに歩んでるから印象深い。淀川さんは、若い頃にメリケン波止場に、チャップリンのインタビューに来られたことがあって、淀川さんはチャップリンのスタートーン提供者なんです。

ノコ 淀川さんもまだまだお元気ですから、何回も神戸に来て頂いて、このスクリーンから顔を出してしゃべつていただくといいですね。

★ブータンの人はシャイで、物静か

ノコ 長島さんはブータン協会の会長もされているんですね。

長島 まあ、これも、神戸の人には多いけど、山登りを

するのが好きだ、というのがきっかけやね。

ノコ ブータンにも映画会社というのはあるんですか。

長島 ない。上映館は、首都に一軒だけある。おそらく

インドの映画を上映していると思う。ものすごい人やね

終戦直後の列車みたいに窓枠から人がぶら下がっている

ノコ テレビ局はあるんでしょ。

長島 ない。

ノコ テレビもないんですか？

長島 やつと最近ラジオ局が首都の近辺に放送を始めた。それも一日に何時間かだけ流す程度やね。

ノコ そうなんですか。

長島 だから、そういう物質文明ということで見れば、明治10年ぐらいかな。貨幣そのものが通用しはじめたのが、この10年ぐらいだから。



僕の青春時代はジャン・ギャバンとともにあった。

ノコ エツ。

長島 まつたくの自給自足だからね。

ノコ あ、物々交換ですか。

長島 必要があればね。それもほとんどない。着る物も家も履く物もなんでも自分で作ってしまう。90%以上が農民だから、自分でやるからお金もいらなかつた。それに鎖国だったから、外国人も行かなかつたし。

ノコ 今度はいつ行かれるんですか。

29日、映画の記念碑の除幕式をやつてそのあとブ

ー タンに12日間

行く。(笑)

ノコ エライ、

忙しいですね。

でも、いいな

あ、私も行きた

くてしようがな

いんです。

長島 今度は、

消防車、救急車、

ミシンをブータ

ンを持って行つ

て、消防車の放

水のデモンスト

レーションをし

て、向こうの人

にも使い方を教

えないかん。だ

から神戸市の消防局で山登りの仲間が、自費で行ってくれることになっている。

ノコ どう入るわけですか。

長島 カルカッタからセスナが飛んでるから、1時間20分で直接ブータンに入れる。ただ、19人しか乗れないの

で、今回の一行の25名で乗れない人は、国内便でインドの北の端へ行って、そこからジープで2日がかりで入る

ノコ ヘエー、2日かかり。

長島 断崖絶壁を縫いながら、ガタガタ、ジープに揺られて行く。ブータンの一番インド側は、海拔100mから200m。トラもおるし、ヘビもおる。そこから急激に上がつて、チベットの国境は6kmから7kmの山。町のあるところが海拔2kmぐらいだから、走る息が切れる。

ノコ 私も、一ヶ月ぐらいどこかに行きたいなあ、と思うんですけどね。インドがいいっていう若い人も多いですしね。

長島 まあ、まさに好き好きやと僕は思うね。インドの人は目が大きくて鼻立ちがすつきりしてるけど、一步ブータンに入ると、我々のような蒙古系の顔で、気質もシヤイで、物静か。一步入るだけで、人間、こんなに違うものかと思うほど、インドとブータンは対照的やね。

ノコ ブータンの言葉は。

長島 チベットと共に通。ちょっと勉強出来る人は、みんな英語を流暢にしゃべる。小学校の頃からお経とか国語の時間は、お国の言葉でやるけれども、地理とか算数とかは英語で教えるから、非常に流暢です。

ノコ ブータンの言葉は。

長島 ただ、ああいう所がむづかしいな、と思うのは国が小さくて、人口が少ないから、いわゆる近代化というのをやると、メチャクチャになつてしまふ。あそこの国王が偉いんだと思う。とにかく近代化は図るけれども伝統は捨てたくない。時間かけても、回り道してもじっくりやろうという方針だからね。

ノコ 気候はどうなんですか。

長島 気温が低いね。冬はマイナス15度ぐらい。初めて行った時は11月で、日本の秋みたいでね。空の色が濃いね。青空がきれいな所だ。

ノコ の一言 とてもすてきな映画記念碑がメリケンパークにできたものだ。淀川さんの努力もさることながら、長島さんのお力添えも大変なものだったにちがいない。本当はもっとブータンの話を聞きたかったんだ。そのうち連れていってもらおう。



いま、座っているのはジェームス・ディーンの石だよ

★神戸の集いから

★合言葉は“あなたの善意を赤十字に”

乾杯した。

★世界各国との相互理解をめざして



20年の歩みを振りかえりながら乾杯

日本赤十字社救急普及会の20周年記念パーティが、3月8日、神戸のグリーンヒルホテルで開催された。午前10時半からの定例総会に統いて、記念式典が行われ、設立当初から日赤の指導に当たっている村田美智子さんが「愛情を持つて普及に努めて下さい」と講演。

その後のパーティには、会長の鈴木勇、委員長の土井芳子、事務局長の片島幸雄、事業課長の八島敏夫、普及課長の酒居昭夫さんらを初め、普及員のメンバーラ約200人が集まり、これか らの一層の活動を誓つて、

的一とし、第一部では関西大学教授、山本繁綽氏が講演。統いて第二部では実行委員長の鬼塚喜八郎氏のあいさつに始まり、グローバルズム市民運動憲章、輸入促進フォーラム宣言が発表された。また世界の宗教者たちによる平和の祈りが捧げられ、アトラクションに韓国舞踊やスイスのヨーテル等も披露され、神戸らしさ



## 世界の宗教者による“平和の祈り”

「神戸国際まつり」が3月27日(金)、貿易センタービルで開かれた。日本の市場開放、輸入促進を国民一人一人へと重視する

「ヒゲに市民権を」と発足した神戸インター・ナショナル・ヒゲクラブが、5周年を迎える。3月14日(土)、神戸三宮シネマ座で記念パーティを開いた。



ヒゲは男奥さのシンボルだ！

ト、ユーディ・メニューイン氏が70才を迎へ、神戸の田崎真珠(田崎俊作社長)が日本でのコンサート企画で、神戸では3月13日夜に田崎ホールで演奏。その後、ポートビアホテルで、メニューインご夫妻を迎えてのレセプションが開かれた。

「芸術もビジョンを持つて進まねばならない。真珠と思えぬ迫力と若々しいメニューイン氏。田崎真珠の音楽留学生なども演奏するな

ど田崎社長も大喜びだった



メニューイン御夫妻を囲んで

い国際色豊かな集会となつた。

「ヒゲこそ男の鬭争宣言だ」と、集まつた会員は気勢を上げた。

神戸では3月13日夜に田崎ホールで演奏。その後、ポートビアホテルで、メニューイング夫妻を迎えてのレセプションが開かれた。「芸術もビジョンを持つて進まねばならない。真珠と音楽のハーモニーは、エレガンシイを表現出来ていい企画だった」と、70才とは思えぬ迫力と若々しいメリーン氏。田崎真珠の音楽留学生なども演奏するなど田崎社長も大喜びだった

&lt;I&gt;

KOBE  
**港神宝船！**  
 「神戸七福神会」発足

5月スタート



(後列左より) 望月美佐さん、永岡大純住職、伊藤淨巣貢主、井上仁性住職、藤原正克さん、中西勝画伯  
 (前列左より) 加藤隆久宮司、吉田智朗宮司、小池義人管長

本誌4月号で掲載されて、神戸の各界で話題を呼んだ「神戸七福神会」が、いよいよ発足することになり、それに先立って、4月1日(水)、生田神社社会館にて、新聞・雑誌等の報道関係者を集めて、記者会見が行われた。

当日は、「神戸七福神会」のメンバーである、須磨寺小池義人管長(福禄寿尊)、長田神社津田信基宮司(恵比須神)、湊川神社吉田智朗宮司(毘沙門天)、生田神社加藤隆久宮司(弁財天)、大龍寺井上仁性住職(大黒天)、天上寺伊藤淨巣貢主(布袋尊)、念佛寺永岡大純住職(寿老人)。そして、七福神の絵を描いた中西勝画伯、七福神の文字を書いた望月美佐さんが出席した。

七福神を巡ることにより、人々に福がもたらされる。また、七社寺が、神戸の各地に散在しているため、社寺を巡ることによって、神戸の観光やレジャーの開発もでき、年間30万人の動員をめざしている。

「神戸七福神会」は、5月下旬に予定されているパーティーより正式に発足。七福神巡りグッズ等も作られる。七福神巡りは、この日からスタート。また、「神戸七福神会」を後援するための奉讚会も設置することによってハッピーな神戸っ子ライフをという。

話題のひろば

<II>

## ■モードオリオン竣工披露パーティー

# 進出は新しい飛翔 ファッショントタウン



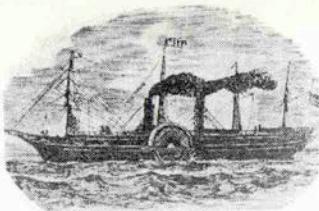
写真上右よりあいさつを述べる清水由民モードオリオン社長、春名和雄丸紅社長、宮崎辰雄神戸市長、石野信一神戸商工会議所会頭、鬼塚喜八郎KFT協議会理事長、木口衛徳ワールド会長、下右より木口会長の音頭で乾杯、会場風景

ポートアイランドのファッショントタウンで竣工ラッシュが続いているが、二十二番目に新社屋を竣工させたのは、株式会社モードオリオン(清水由民取締役社長)。そのお披露目が四月九日、新社屋で行われ、引き続きレセプションが神戸ポートピアホテル備楽の間に於て催された。

「一階のショールームスペースには若い人達に人気の高い品物を展示し、さまざまな試みを通じていささかよりも業界の発展に努力したい」との清水由民社長のあいさつに続き、提携会社の丸紅社長、春名和雄氏のメッセージ、また宮崎辰雄神戸市長は「ファッショントンは情報が大切で、丸紅と提携した事はすばらしい。情報力を大いに活用され、神戸の繁栄につながりますよう」との祝辞を、石野商工会議所会頭も「丸紅の情報力を神戸全体に広げ、神戸経済界の発展にもご努力をお願いしたい」と述べた。

さらに鬼塚喜八郎アシックス社長のあいさつと続き木口衛ワールド会長の音頭で乾杯となり、会長に集った約八百人の関係者が、モードオリオン竣工を祝つた。なお新社屋への移転は、五月初旬が予定されている。

■モードオリオン新社屋／神戸市中央区港島中町6-4-2 電078-3303-1289 (代)



# '87世界の酒祭り I LIKE KOBE JAZZ!

月刊神戸つ子は小泉様御兄弟が、楽しいアイデアを次々お出しになって、集る人々に大きな喜びを与えておられるごとにいつも感心しているのです。お顔なじみの方々多く、みんな楽しそうに、飲み、食べ、話しました。

月刊神戸つ子は小泉様御兄弟が、楽しいアイデアを次々お出しになって、集る人々に大きな喜びを与えておられるごとにいつも感心しているのです。お顔なじみの方々多く、みんな楽しもうに、飲み、食べ、話しました。

酒まつりに参加して

**土井 芳子**



(写真左) 談笑する筆者  
神戸市婦人団体協議会

会長 土井 芳子

「酒祭り」恒例の、第16回ブルーメール賞受賞式の他、本年が神戸港開港120年ということもあり、ジャズの生演奏が行われ、「酒祭り」を盛り上げた。

その「酒祭り」の感想を4人の方に伺った。

ボーホールにて「'87世界の酒祭り」が開催された。

当日は、政界・文化界を問わず各界より約700名の人々が、雨天にもかかわらず参加。

「酒祭り」恒例の、第16回ブルーメール賞受賞式の他、本年が神戸港開港120年ということもあり、ジャズの生演奏が行われ、「酒祭り」を盛り上げた。

て時のたつことも忘れておられた。こうした楽しい会が、来年も、さ来年も、ずっと続きますようにそして私も参加させて頂ける事を願っております。ありがとうございました。



(写真中央) 受賞者を代表して挨拶する筆者  
神戸山手女子中・高校

校長 中西 覚

酒まつり初体験の記

中西 覚

第十六回ブルーメール賞音楽部

門を受賞し、その表彰式があると  
いうことでおつかなびつくり酒ま  
つりの会場へ初めて足を踏み入れ  
ました。まず驚かされたのは集ま  
って来られた人数の多さです。そ  
の大勢の方たちがまさに入り乱れ  
て酒汲み交わし歓談されている様  
子は実に壯観、さすが神戸の名物  
「酒まつり」だけのことはあると  
感心させられました。協賛されて  
いる各種企業・団体・グループの  
こういう交歓のしかたも月刊神戸  
つ子のすばらしいアイデアという  
ほかはありません。ただ全体の照  
明をもう少し明るくする方がいい  
のではないかと思いました。とも  
あれ楽しいひとときでした。



そして、特別に神戸七福神が登場して、拍手と歓迎の声を受け、

痛快の極みとともに、神戸七福神の発展は疑いなし。と確信いたしました。

以上、千人の方々から、「'87世界の酒まつり」の感想を頂きました。

本年は、前述の通り、開港120年

ということで、ジャズをメインテー

マに、数々のショードが繰り広げられました。

司会はおなじみの西澤暉氏と小山乃里子さんの名コンビ。演奏は

大内正義とラフィングジャズオーケストラ。

例年通り、第16回ブルーメール賞表彰式。酒まつり乾杯等が行われたが、今年の特徴は、何と言つても「神戸七福神」の登場。本誌4月号で既報の通り、生田神社、須磨寺等の、神戸の七社寺が揃い

ぶみ。七福神を乗せた宝船が「神戸っ子」にやって来た。

お酒は、今年協賛いただいた白

鶴、白鹿、澤之鶴、金盃、大閑、サントリリー、アサヒビール、キリンビール、ニッカウヰスキー、キッコーマンの10社からそれぞれ贈られた。

会は、恒例の酒徒番付発表。キヤンディ浅田、秋満義孝、ロイヤルフラッシュ・ジャズバンドの演奏

の後、酒亭紹介、酒亭対抗ビール早飲み競争、神戸市内の約100社から協賛頂いたチャリティーフォードが行わられ、フィナーレのダンスタイル

ムで大盛況の内、閉会した。



舞台に立った井上住職  
大龍寺（大黒天）

住職 井上 仁性



三菱ポートピアプラザ丸前にて  
三菱地所株式会社 大阪支店

営業課 佐々木 真

「月刊神戸っ子」26周年、おめでとうございます。

26周年を記念しての「世界の酒まつり」に参加させて頂き、大変に楽しい一時を過ごせたことを喜んでおります。

実は、「酒まつり」に参加するのは、これが初めてではありません。昭和58年に、娘の井上和世がブルーメール賞の音楽部門を受賞させて頂いた時に、参加させて頂きましたので、4年ぶりということがあります。

その時と比べまして、非常に豪華絢爛。内容もバラエティーに富み、非常に充実したようを感じました。また、参加されたお客様も数倍になっているのではないかでしょうか。

個人的な話になりますが、以前私はライオンズクラブに加入しておりましたが、「酒まつり」に、ライオンズの面々が多数来られており、非常に懐かしく思いました。

大なる縁会（宴会）では……。  
世にいろいろと「縁」がありますが、これは、お酒がとりもつ盛りました。早くも来年の開催を心待ちにしております。

これからも「神戸っ子」ますますの発展と「世界の酒まつり」が、30周年、40周年を向かえますように、お祈りいたします。

ヤンディ浅田、秋満義孝、ロイヤルフラッシュ・ジャズバンドの演奏の後、酒亭紹介、酒亭対抗ビール早飲み競争、神戸市内の約100社から協賛頂いたチャリティーフォードが行わられ、フィナーレのダンスタイルムで大盛況の内、閉会した。

## I LIKE KOBE JAZZ!





“ふれあい”的入口。手づくりの作品も売っています

広さ七坪、客席一六のこじんまりとした店内は、私が訪ねた時は、この日卒業式を終えた神戸市立外国语大学の若い青年男女で埋まっていた。

三月二十八日。土曜日の午後。地下鉄の学園都市駅のキャンパス・スクエアの中にある“喫茶ふれあい”を訪ねた。キャンパス・スクエア開設一周年記念セール中で、春休みでもあり、この日は午後は新人歌手西村知美的コンサートもあって、ショッピング街は若い人たちや家族連れで大変な人出だった。“喫茶ふれあい”は他の四三店と並んでキャンパス・スクエアの一階にあります。



須磨区友が丘にある神戸聖生園  
★神戸を福祉の街に〈161〉

## “喫茶ふれあい” この一年のこころみ

橋本 明  
（社団法人家庭養護会事務局長）



そして偶然にもこのコーヒーショップはちょうど一年前の今日、ちえ遅れの人たちの職場開拓と社会適応訓練の場の一つとしてオープンしたのであった。

新しい試みとしてこの店を開設したのは神戸市内や県下に身体障害者や精神薄弱者の施設を経営している社会福祉法人「神戸聖隸福祉事業団」で、オープンした時から精神薄弱者通所授産施設である神戸聖生園（金附洋一郎園長）の卒園生渡辺雅子さん（36）と神戸市立青陽高等養護学校を卒業した宮本匡子さんの秋から店員として働いており、昨年の秋から松浦かずみさん（21）も加わり、現在三人のハンディをもつた女性が毎日忙しく働いている。金附さんの妻久美さんと、以前聖生園で働いていた中野加恵子さんの二人が三人の指導や手助けをしているが、接客業であるだけに「お客様は一人一人みなちがうので、失礼のないように気を利かせることを大切に教えています」と金附さんはいう。

開店は朝10時で閉店は夜の8時。5人が早出と遅出のローテーションを組み、お湯を沸かしたり洗いものをしたり、お客様の注文を聞いたり、代金

の計算や帳簿をつけたりする。注文票を見せても

らうと、少し大きめの紙に約三〇種類のメニューの名前と値段が一つ一つわかりやすく書いてある「もう少し手のこんだメニューもそろえればもっと売上げも増えるんですが、憶えやすい簡単なメニューの方が間違えないので、このままにしています。借金はまだ返せませんが赤字は出しています。金附さんは笑う。給料は月に一人七

五、〇〇〇円。みな社会保険にも入っている。

お客さんの数は一日平均80人程。口コミでこの店のことを聞いて、身内に障害者のいる人たちも来てくれるが、ほとんどのお客はキャンバス・スクエアにショッピングにやってくる人や学生で、この店の店員がハンディをもつた人たちだと気づかない。

カウンターの隅に「ふれあいノート」が置いてあることを聞いて、身内に障害者のいる人たちも来てくれるが、ほとんどのお客様はキャンバス・スクエアにショッピングにやってくる人や学生で、この店の店員がハンディをもつた人たちだと気づかない。

ある。ここを訪れたお客様が自由に書きつづったノートだ。

「イライラした時はここに来て気持をしすめて、明日からは少しはいい人になれるような気分になって帰ります」

「ふれあいのコーヒーは大変うまいです。またサビスもよいので好きです」

「はじめてふれあいに来て以来、ジュースのおいしさにやみつきになりそう」

いろんな意見や感想がいっぱい書いてある。子どもからお年寄り、そして車イスのお客までと常連やファンも多い。店の前のショーウィンドウには、七宝、はたおり、ダンカン焼、カードなどの障害者の手になる作品が展示され、販売されている。この一年間に二千人を越える人たちがこの店を訪れた計算になるが、その多くの人たちがかを感じ、考えて帰ったかも知れない。

### 聖生園の金附洋一郎園長

長は「障害者が社会で働くことは大変厳しいのが現実です。こういうサービス業は全国でもまだほんの少ししか例がありますが、新しい試みとして取り組んでいきたい」と考えている。

こんな新しい試みがもつともっと地域の中で実践され、定着していくほしいものだ。

★喫茶ふれあい  
TEL (七九三) 五八七七



上／店内は若い人達でいっぱい。下／右から金附、渡辺、松浦、宮本、中野のみなさん



神戸市長賞受賞作▶



◀▼2作品ともデザイン大賞受賞作。左は、上着をとるとノースリーブスタイル。下は、上下セパレートタイプで、パンツスタイルにもなる。



“これが浴衣？”とびっくりするデザインが続々。向陽閣で行われた「YUKATA IN 有馬」(有馬温泉観光協会青年部主催)では、全国から応募のあった七百点余りの浴衣デザインから一次審査通過作32点がファッショショード形式で紹介され最終的に9名(11作品)にデザイン大賞他各賞が贈られた。

3月22日

兵衛

結婚式場を完備しています



伝統と格式を誇る

兵衛

向陽閣

景勝高台の近代旅館

TEL (078) 904-0501代

欽山は典雅な  
日本風の館です

国際観光旅館



欽山

TEL (078) 904-0701代

敷地内から湧きでる  
日本最古の温泉“有馬温泉”

阪急ホテルチェーン

有馬ビューホテル

TEL (078) 904-2295代

温泉と演芸と遊技場

有馬ヘルスセンター

TEL (078) 904-2291

雅ただようくつろぎの館

中の丸瑞苑

TEL (078) 904-0781

会議セミナーから御家族づれまで

有馬グランドホテル

TEL (078) 904-0181

▼最終審査に残った作品の中には、実用性といふ点では難があつても、デザイン的には斬新な作品が幾つかあった。審査員からは、旅館でレンタル浴衣として着てもらったらどうかとのコメントもあった。“見る”側にとつては楽しい作品だ。



▲ハロー／神戸賞受賞作



▲神戸国際観光協会賞受賞作



◀湯けむり賞受賞作

有馬の歴史を語り続ける「いで湯の宿」

## 銀水荘

別館 楽山

TEL (078) 904-0622

## 別館 光楽

TEL (078) 904-3656

静寂さにつつまれた  
くつろぎの宿

国際観光旅館

## 陵楓閣

TEL (078) 904-0675  
TELEX 5627-115

テニスでいい汗  
いい湯にとっぷり  
味に集う



TEL (078) 903-1024

木造りの宿  
御所坊  
TEL (078) 904-0551

自然の恵みを  
湯けむりに伝える

政府登録国際観光旅館

## 古家園

TEL (078) 904-0731

# かん(観)・かん(感)

初田 寿

初田 美術研究所代表者

☆出会いの旅

三月四日、十五時四十分、大阪空港発、一時間二十分のフライトで雨上りの金浦空港に無事着陸。

親韓派で知られる元町画廊社長佐藤廉氏と同行の今回の訪韓には二つの目的があった。

昨秋佐藤氏の紹介で知り合った韓国の現代作家、全氏夫妻を中心とする作家グループと、神戸に制作の場を持つ作家と神戸出身で東京に制作の場を持つ作家により三年前に結成した、グループ「かん(観)・かん(感)・かん(闇)」(昨年は9月にさんちかホール、11月東京世田谷美術館で発表、元町画廊後援)が交流展を開催しようとして云う事になり、実現へ向け話しを詰めるため。一つは昨年よりお手伝をしている兵庫県日韓親善協会と、韓国韓日親善協会ソウル特別市連合会との姉妹結縁式(三月六日ソウルで開催)に理事として参列、その後、各地を親善訪問する事である。

出不精の私、訪韓は初めてである。最近、非常な勢いで経済成長をしている韓国。大陸文化を我国に伝えた韓国にも興味がある。

人國手続、税關チエック(この時8ミリビデオをチェックされ、出国時必ず持ち出るようにと指導される。聞くところによると、自國製品を愛用させるため、これ等の製品には二百パーーセントの関税が掛けられるとのこと)、マネーチェンジ(一萬円=五万六千ウォン)、全氏夫妻、表画廊オーナー表美仙さん(今春訪日された際、

元町画廊で知り合う)、神戸二紀会ソウル支部のメンバーの出迎えを受け、兵庫県日韓親善協会訪韓団より二日

早くソウル入り、二日間の行動開始である。

表さんの案内で、韓国の美術事情を見て回ることにし

た。表画廊のあるCHONGRO-KUは画廊街で、現代画廊を始め多くの画廊がある。扱っている作品は大別すると、東洋画(韓国に古くからある水墨に彩色をしたもの―民画)具象油画、現代美術の三つに分けられる。

この内で、現代美術はなかなかハイレベルだ。三十台、四十才台の作家の作品が並べられている。日本の作家の作品と比較すると、韓国の風土から来るのか骨太で熱気を孕んで力強い。満ち足りた島国の経済大国日本、人民が目的を失いひ弱になっていくのに対し、大陸統きであること、イデオロギーを異にする北朝鮮との緊張感からくる国民意識、経済发展からくる自信、厳しい自然の中で生活し続けて来た忍耐強さ、そして現代美術のよき指導者(現代美術作家で弘益大学々長の朴栖甫先生)等が相乗して、制作エネルギーとなつていているのではない

かと感じた。

表さんの尽力を得て、全さん始め素晴らしいメンバーも決定、今秋韓国作家十五名を招待し、さんちかホール、ギャラリーさんちか、アベニューゴーベで神戸市秋の芸術祭参加、(神戸市共催、元町画廊、表画廊、兵庫県民団等の後援)で、グループ「かん(観)・かん(感)・か



ん（関）・韓）展を開催する運びとなりました。

六日午後六時半、朝鮮ホテル出発、ソウルの高層ビル六三ビル宴会場で開かれる姉妹結縁式に向う。神戸からの長旅の疲れも見せず、上田将雄会長（八十四才）、中井一夫顧問（九十八才）、副会長小池義人御夫妻、望月美佐氏、皆晴々とした顔々々。我々の意識としては民間団体の結縁式であるのに、韓国側の受け止め方は、国会議長、国會議員、ソウル特別市々長その他各界代表の列席、国レベルでの式典である。

両国々歌斎唱、両国役員紹介、姉妹結縁調印。両国の親善、文化交流に尽力された上田会長、小池副会長、中井先生、望月美佐、佐藤廉、中西勝氏に功労賞の授与。九十八才、老いて益々盛んな中井先生御発声で万歳三唱、セレモニーの幕は閉じる。

近くで遠い国といわれているが、文化交流を通して両国を理解し、過去の不幸な関係を乗り越えて親善の輪の広げて行かねばならぬことを痛感する。

大邱へ、慶尚北道各府訪問、同知事主催の晩餐会、慶州市府では日曜日にもかかわらず市長始め各局長様の歓迎を受ける。仏国寺、天馬塚、博物館を見学。仏国寺前庭の多宝塔は同寺建立時のもので、木造と見まちがう程の造形美。天馬塚のある大陵苑のゴミ一つ落ちていない整備と管理の良さに驚き、博物館にあるエミレ鐘の素晴らしさ、風化した石仏群の美しさに感動、飛鳥のルーツを見た思いでした。

今回の旅でお世話になつた韓国の方々、表面的なもてなしでなく、心を込めて接して下さいました。心に熱いものが芽生えました。これからはその芽を大きく育てましょう。「有難うございました！」を後に、全員元気で釜山より帰国。

（筆者紹介）

一九三六年滋賀県大津市に生まれる。  
一九五九年京都立美術大学西洋画科卒業  
一九五九年八月三日神戸／大阪／京都／東京にて個展・グループ展約30回開催  
一九八四年グループ「東京＋神戸」結成  
第一回展・新宿文化センター（東京）／ギャラリーエンバ（神戸）など  
神戸市東灘区在住



右、慶州仏国寺前にて／左、表画廊にて。（上）左上から表美仏さん、筆者、左下から朴炳甫さん、佐藤慶さん。  
(下) 全さんと話し合い。